

平成27年度一般選抜学力検査問題

社 会

(5 時間目 50分)

注 意

- 1 問題用紙と解答用紙の両方の決められた欄に、受検番号と氏名を記入しなさい。
- 2 問題用紙は開始の合図があるまで開いてはいけません。
- 3 問題は1ページから6ページまであり、これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 4 答えは、すべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号		氏 名	
------	--	-----	--

1 次の模式図は、地球を陸地が最も多く見えるように示したものである。これと図や表を見て、

(1)～(6)の問い合わせに答えなさい。

模式図

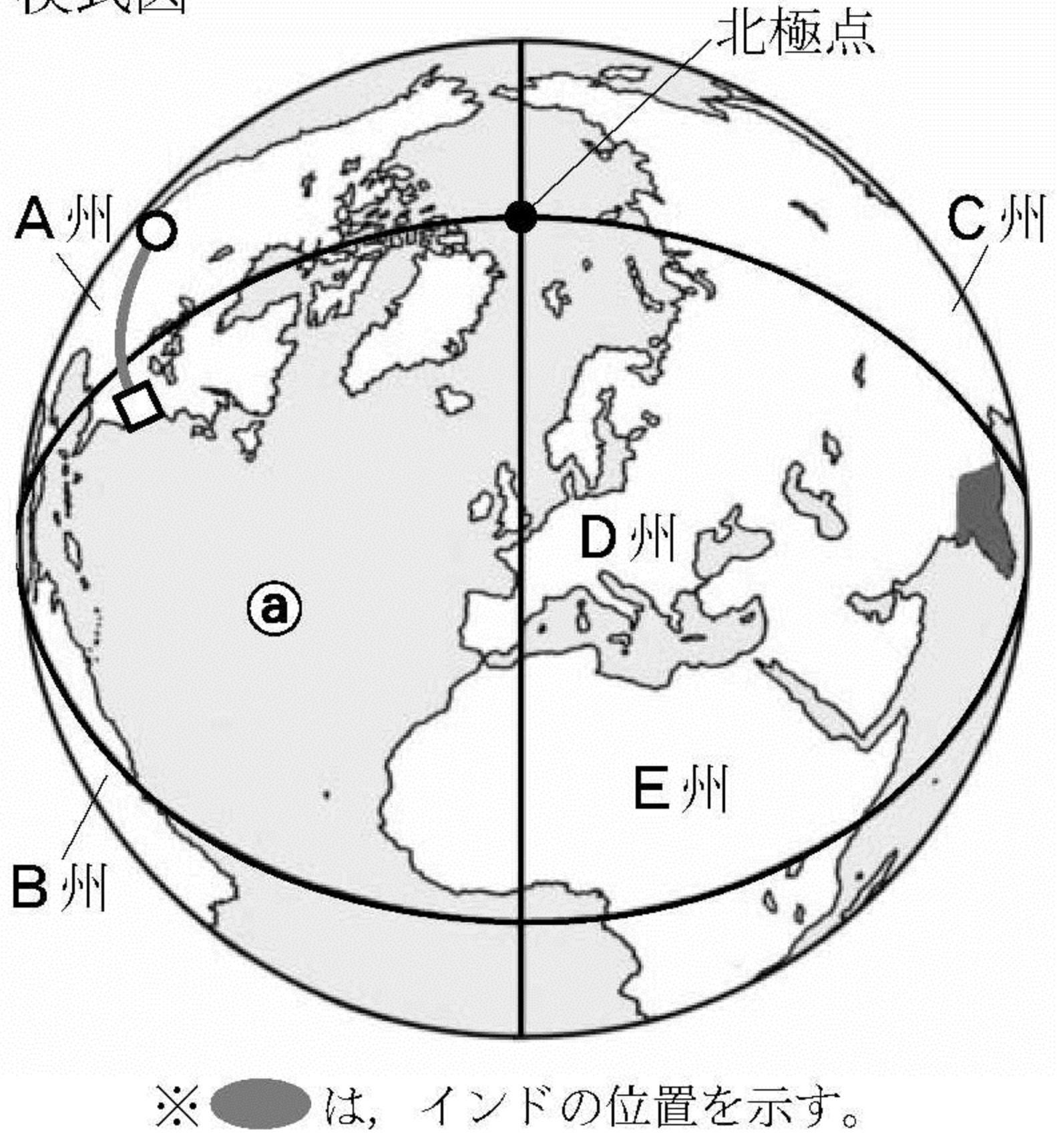


図1 A州の○—□間の断面図

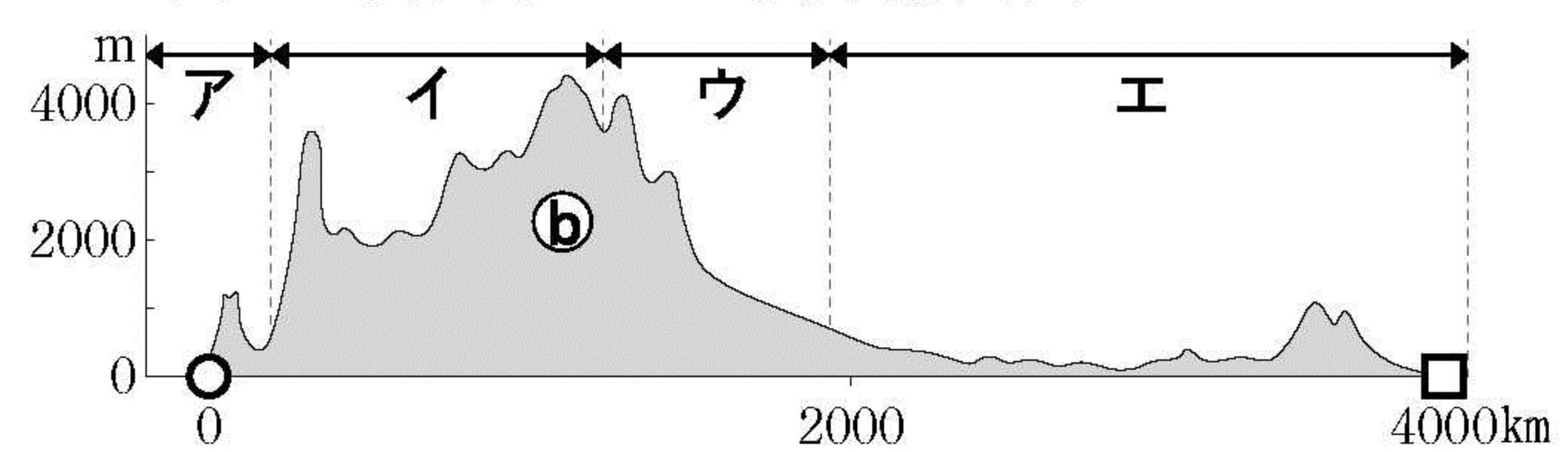
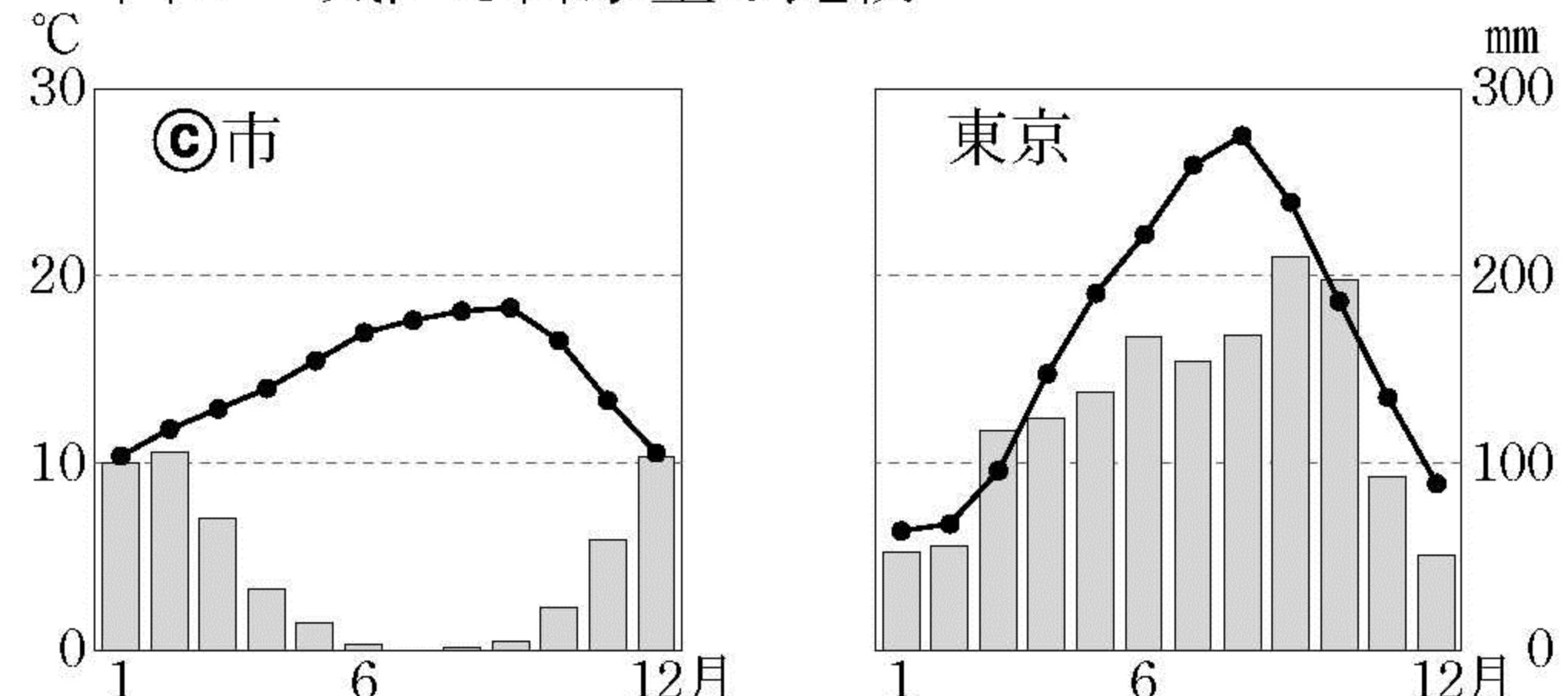


図2 気温と降水量の比較



※c市と東京は、温帯に属する都市である。

(「理科年表 平成24年」から作成)

- (1) ①は、世界の三大洋のうちの一つである。①の海洋名を書きなさい。
- (2) 地球の中心を通り、日本の正反対にある州を、A～E州から一つ選んで記号を書きなさい。
- (3) 南極大陸をのぞいた世界の大陸のうち、模式図にまったく表されていない大陸の略地図を解答欄にしたがってかきなさい。ただし、位置や形、大きさに注意してかくこと。
- (4) 図1の②の山脈名を書きなさい。また、図2の③市は、図1のア～エの地域のいずれかに位置する。③市が位置する地域を、一つ選んで記号を書きなさい。
- (5) 表は、A～C州の各州において最も人口の多い国々と、インドを比較したものである。表のあ～えから、インドを示すものを、一つ選んで記号を書きなさい。
- (6) 図3は、ある生徒がE州の国々から5か国を取り上げ、それらの国の特色を調べてまとめたものである。項目1のア～ウは、それぞれ原材料、食料品、工業製品のいずれかの割合を示している。工業製品の割合を示すものを、一つ選んで記号を書きなさい。また、工業製品の割合が高い国の特色を、項目2から読みとり、解答欄にしたがって書きなさい。

表 主な農畜産物の国内消費量(千t)

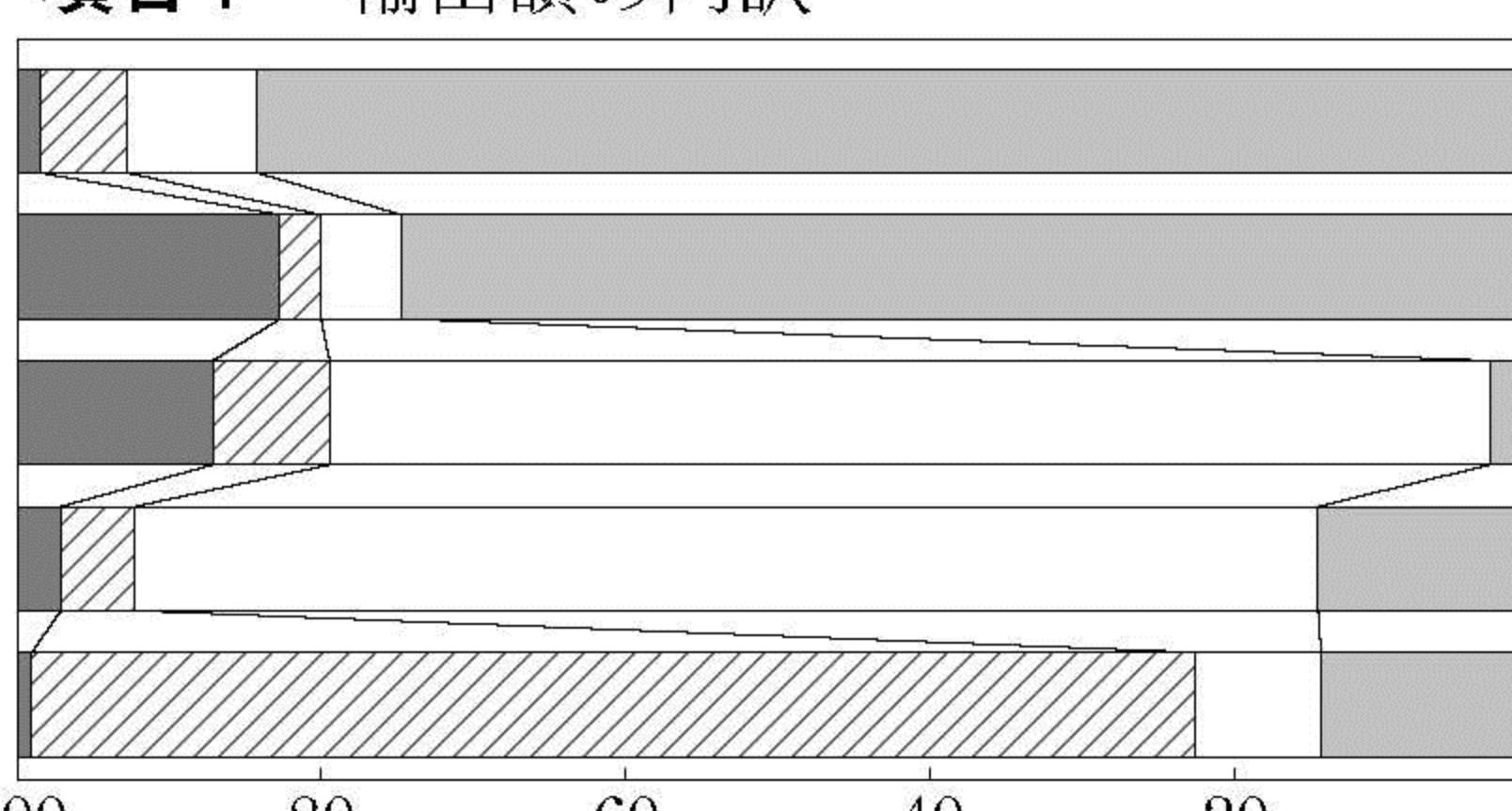
項目 国	米	小麦	牛肉
あ	139 600	122 500	5 495
い	93 334	81 404	1 960
う	7 928	11 200	7 810
え	3 493	32 112	11 869

(「世界国勢団会」2013/14年版などから作成)

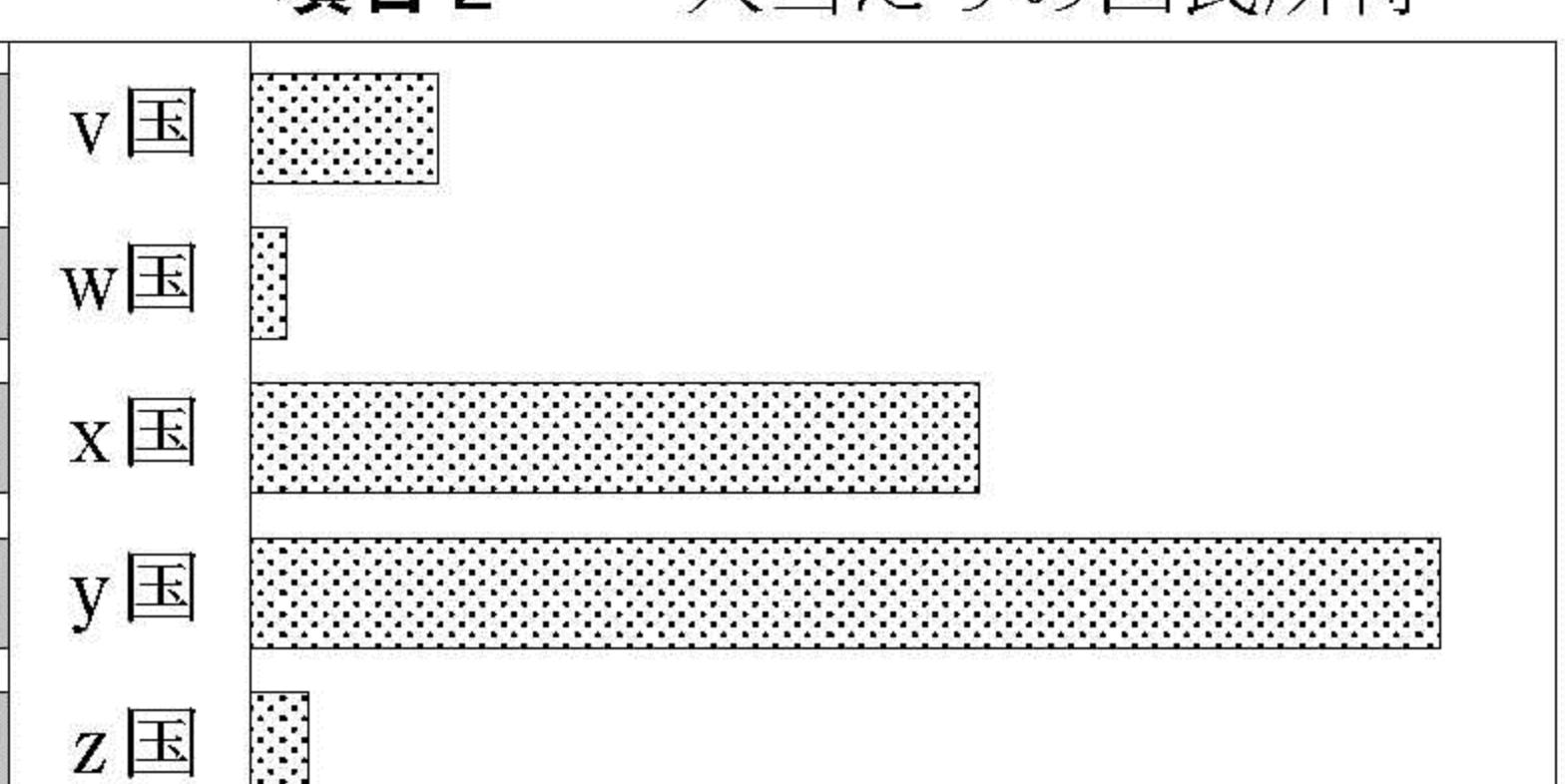
図3 E州に位置する5か国の比較

項目1 輸出額の内訳

項目1の凡例
ア
イ
ウ
その他



項目2 一人当たりの国民所得



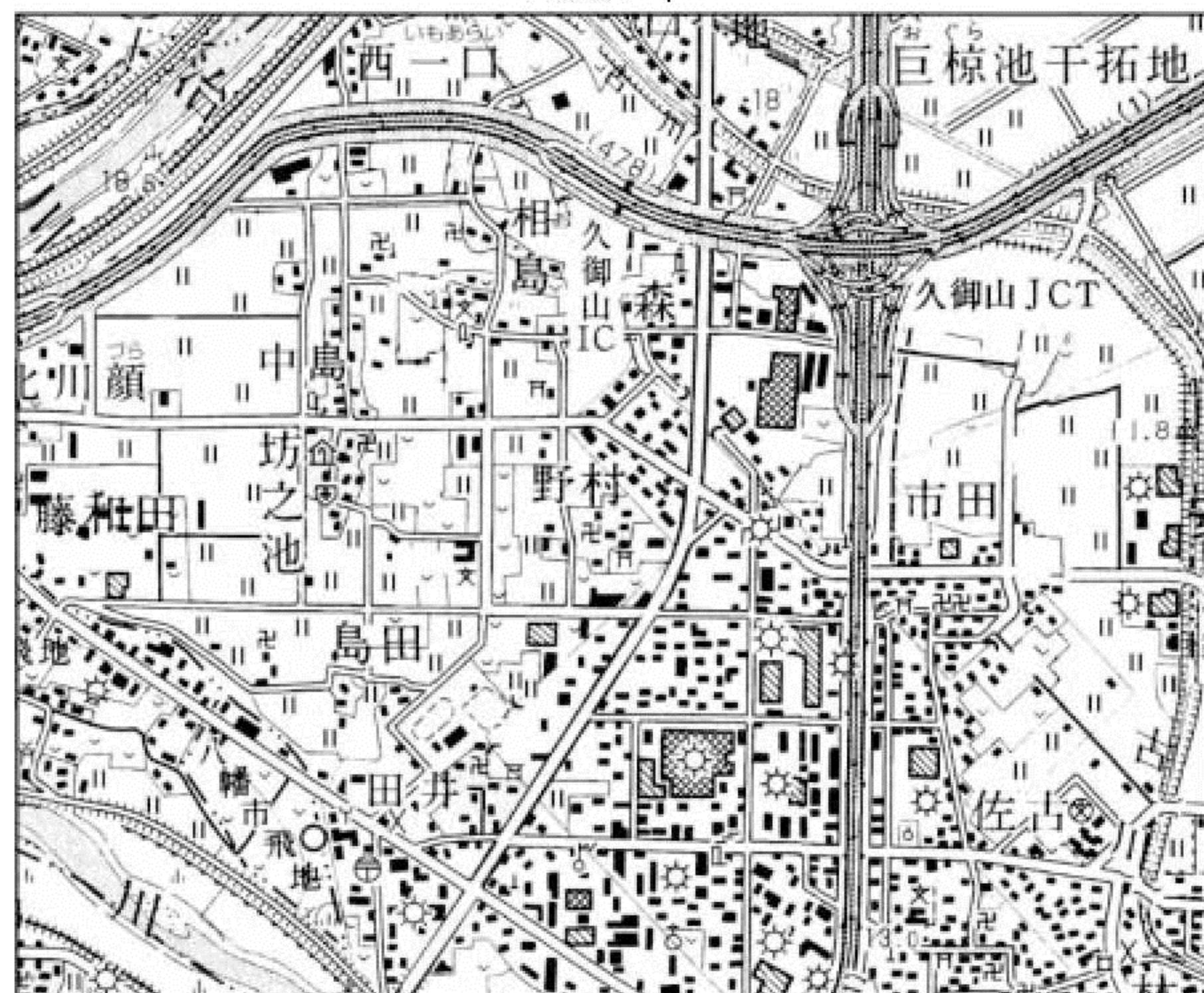
(「Data Book of The WORLD」2013年版などから作成)

2 次の地図は、久御山町の地形図の一部である。会話は、久御山町と秋田県の生徒の情報通信ネットワークを使った学習の様子である。これらと表を見て、(1)～(5)の問い合わせに答えなさい。

地図



2007年



(新旧の地図は、国土地理院5万分の1地形図「京都南西部」などから作成)

会話 身近な地域の変化と特色

生徒A：私の住む①京都府久御山町は、近畿地方に位置しています。まずは、二枚の地図を見てください。新たにできた ② 沿いに、工場がたくさんできているのが分かりますか。

生徒B：よく分かります。Aさんの町の変化は他にもありますか。

生徒A：⑤近郊農業がさかんになっています。巨椋池の干拓地にできたYでは、冬になるとその土地を利用して、ほうれんそうなどの栽培が行われています。

生徒B：近郊農業がさかんだということは、Aさんの町は **Z** ところに位置しているのですね。
ところで、Aさんの町の特色は何ですか。

生徒A：私の町の特色は、④昼夜間人口比率が高いことです。昼夜間人口比率というのは、夜間人口を100としたときの昼間人口の割合のことです。

生徒B：表を見ると、秋田県内にある九つの町の平均よりも、かなり高いですね。

(1) 下線部①と県境を接している県を、一つ選んで記号を書きなさい。

ア　岡山　　イ　和歌山　　ウ　岐阜　　エ　滋賀

(2) 1960年代以降、日本で整備が急速に進んだ、に入る適切な社会資本を書きなさい。

また、の整備による産業の特色として適切なものを、一つ選んで記号を書きなさい。

ア ニュータウンの建設 イ 産業の空洞化 ウ 工業の地方分散 テ 太平洋ベルトの形成

(3) □ Y にあてはまる土地利用を書きなさい。

(4) 次のア～丁のうち 下線部**h**が最もさかんな風を

一つ選んで記号を書きなさい。また、Z に入る、下線部① が行われない地域の共通点を書きなさい。

乙 庚辰自 矢野 宅 新潤 丁 執工

(5) 下線部④は、表の数値にも表れている。二つの数値

表 久御山町と秋田県内の町の比較

項目	町	久御山	秋田県内
面積(km ²)		14	183
総人口(人)		16 241	10 986
事業所数		1 705	523
従業員数(人)		25 588	3 748
出荷額(億円)		1 819	95

※出荷額は製造品出荷額を表す。
秋田県内の数値は9町の平均値を表す。
(「データでみる県勢」2013年版から作成)

3 次の資料は、歴史の移り変わりを考えるために、ある生徒が各時代の主なできごとと特色をまとめたものである。

(1) 主なできごとに関する問題である。

① 下線部②の西暦年は何世紀か。また、その世紀は西暦何年までか。それぞれ数字を書きなさい。

② 下線部①の目的を、一つ選んで記号を書きなさい。

ア 政治の心構えを説く

イ 大陸の進んだ文化を取り入れる

ウ 国が土地と人民を直接支配する

エ 能力や功績のある人物を役人に取り立てる

③ 下線部④のうち、**あ**にあてはまる、貴族や寺社が所有していた土地の名称を書きなさい。

④ 次は、**い**に入るできごとの影響を、年代の古い順に並べたものである。**a**～**d**にあてはまるできごとを、ア～エから一つずつ選んで記号を書きなさい。

・**a** ののち、幕府が西国にも勢力を伸ばした

・**b** ののち、御家人の幕府への不満が高まった

・**c** ののち、幕府に政治の権限が集中した

・**d** ののち、幕府の支配力がおとろえた

ア 応仁の乱 イ 承久の乱

ウ 南北朝の争乱 エ 元寇

⑤ **う**には、近世の特色に示した三人の人物が行った政策が入る。あてはまる政策を一つずつ選んで、年代の古い順に記号を書きなさい。

ア 参勤交代を制度として定める イ 刀狩を行う

ウ 治安維持法を定める エ 御成敗式目を定める

オ 城下で楽市・楽座を行う

⑥ 下線部③のうち、群馬県富岡につくられた工場において生産されていたものを、一つ選んで記号を書きなさい。

ア 編糸 イ 船 ウ 生糸 エ 鉄鋼

⑦ **え**に入る人物を、一人選んで記号を書きなさい。

ア 野口英世 イ 井原西鶴

ウ 十返舎一九 エ 芥川龍之介

⑧ 下線部④の直接のきっかけとなった東アジアでおきたできごとと、背景にあった国際情勢を書きなさい。

資料

世紀	時代	主なできごと
十二世紀ごろまで	弥生・平安など 原始・古代	<ul style="list-style-type: none"> ② 239年、卑弥呼が魏に使いを送る 聖徳太子が①冠位十二階の制度を定める 墾田永年私財法によって④私有地が増える
十六世紀ごろまで	鎌倉など 中世	<ul style="list-style-type: none"> 地頭とあの領主との間で争いが増える <p>い</p> <ul style="list-style-type: none"> 雪舟が水墨画を大成する お伽草子がつくられる
十九世紀中ごろまで	江戸など 近世	<ul style="list-style-type: none"> 南蛮貿易が行われる <p>う</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国船打払令を出す 清でアヘン戦争がおこる 日米修好通商条約を結ぶ
二十世紀前半まで	明治など 近代	<ul style="list-style-type: none"> 官営模範工場をつくる 地租改正を行う 条約改正を実現する えが多くの短編小説を発表する 普通選挙法が成立する
現在まで	昭和など 現代	<ul style="list-style-type: none"> ポツダム宣言を受諾する 農地改革を行う サンフランシスコ平和条約を結ぶ 特需景気がおこる 国連のPKOに参加する

である。これと図や表を見て、(1), (2)の問い合わせに答えなさい。

(2) 特色に関する問題である。

特色
・稻作が広まると、 <u>a</u> 社会は大きく変化した。
・大和政権が、大陸の制度を取り入れて、天皇中心の国づくりを進めたが、やがて、 <u>A</u> 。
・幕府が、土地を仲立ちとする主従関係のもとに、武家中心の国づくりを進めたが、やがて、 <u>B</u> 。文化の面では、 <u>C</u> が生まれた。
・織田信長、豊臣秀吉、徳川家光らが、社会のしくみを改革しながら、天下統一を進めた。やがて、経済が発達し、秋田でも <u>D</u> など、 <u>E</u> 。
・政府が、 <u>b</u> 大きな改革を次々に行い、新しい国づくりを進めた。やがて、大衆にもデモクラシーの思想が広まり、秋田でも <u>F</u> など、 <u>G</u> 。
・政府が、 <u>c</u> 大きな改革を次々に行い、新たな社会のしくみを整えた。やがて、科学技術などの発展により国際社会での役割が大きくなった。

- ① 下線部aの内容として適切なものを、二つ選んで記号を書きなさい。
- ア 貧富や身分の差が生まれる イ 定期市が各地でさかんになる
ウ 貨幣経済が農村まで広まる エ 小さな国々による戦いが増える
- ② AとBに入る適切な時代の様子を、一つずつ選んで記号を書きなさい。
- ア 地方の武士や民衆が力を伸ばし、下剋上の風潮が広がった
イ 開国後におきた世直し一揆などにより、幕府の権威がゆらいだ
ウ 国家総動員法で物資などが統制され、国民の生活が苦しくなった
エ 律令制の変化や武士の台頭により、朝廷や貴族の力は弱まった
- ③ Cに入る適切な文化の特色を、中世の主なできごとや図から読みとり、一つ選んで記号を書きなさい。
- ア 豪華で力強い文化
イ 國際色豊かな仏教文化
ウ 現代につながる生活文化
エ 西洋の文明を取り入れた文化



- ④ D～Gに入る適切な内容を、DとFには、ア～エから、EとGには、力～ケから、一つずつ選んで記号を書きなさい。

- ア 東北で最初のメーデーが行われる
イ 北前船で年貢米を上方の蔵屋敷に運ぶ
ウ 後三年の役という大きな戦乱がおこる
エ 秋田湾地区が新産業都市に指定される

- 力 有力な武士団が対立した
キ 社会運動が活発になった
ク 高度経済成長が続いた
ケ 水上の輸送路も発達した

- ⑤ 次の表は、生徒が下線部bとcを比べて作成したものである。Xに入る適切な内容と、Yにあてはまる語を書きなさい。ただし、Xには同じ内容、Yには同じ語が入る。

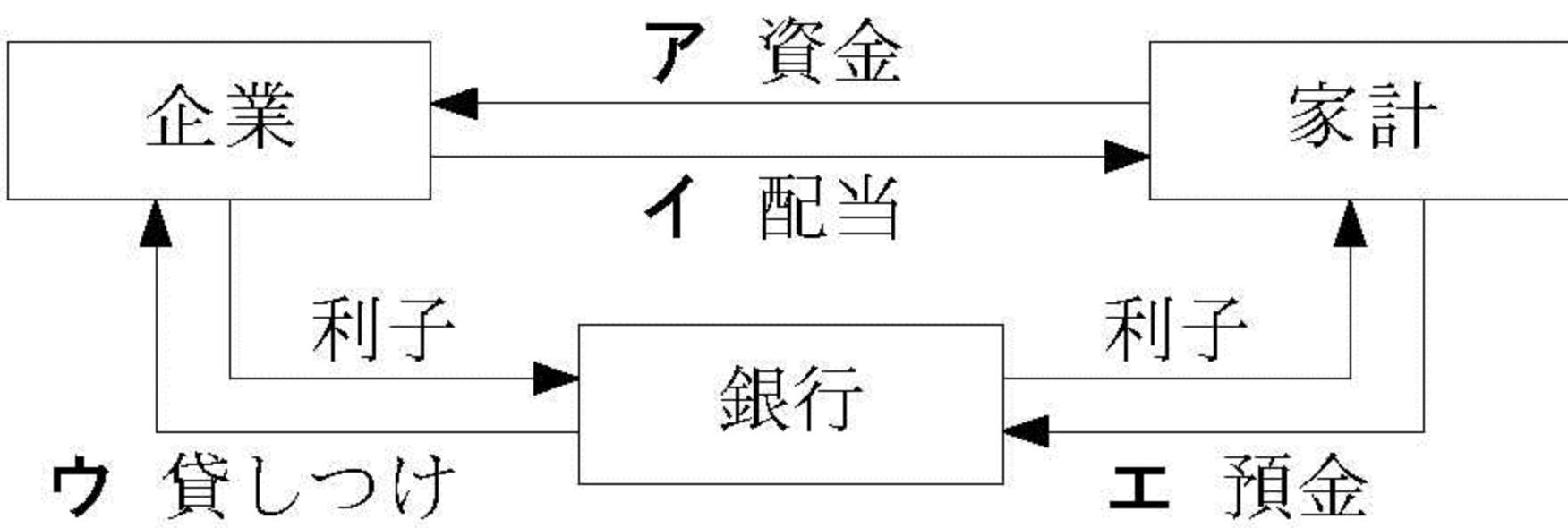
表

項目	下線部	<u>b</u>	<u>c</u>
国際情勢や日本の状況	19世紀前半、近代化した欧米の列強諸国が、資源や市場などを求めて、 <u>X</u> していた。	20世紀中ごろ、資源などを求めて、 <u>X</u> した日本は、敗戦後、連合国に占領下におかれていた。	
主なねらい	国の <u>Y</u> している状態を保つとともに、国際的な地位を向上させる。	国の <u>Y</u> を回復するとともに、平和で民主的な国をつくる。	

4 次の資料1～資料4は、各班が企業に関する発表を行うために作成したものである。これらと図や表を見て、(1)～(10)の問い合わせに答えなさい。

資料1

○企業に関する主なお金の流れ



● 1班が調べて分かったこと

・あ の比較

日本の税率は、日本企業の進出数が多い東南アジアの国々に比べて高い。

<各国の税率>

日本(34.6%), ベトナム(25.0%)
タイ(20.0%), シンガポール(17.0%)

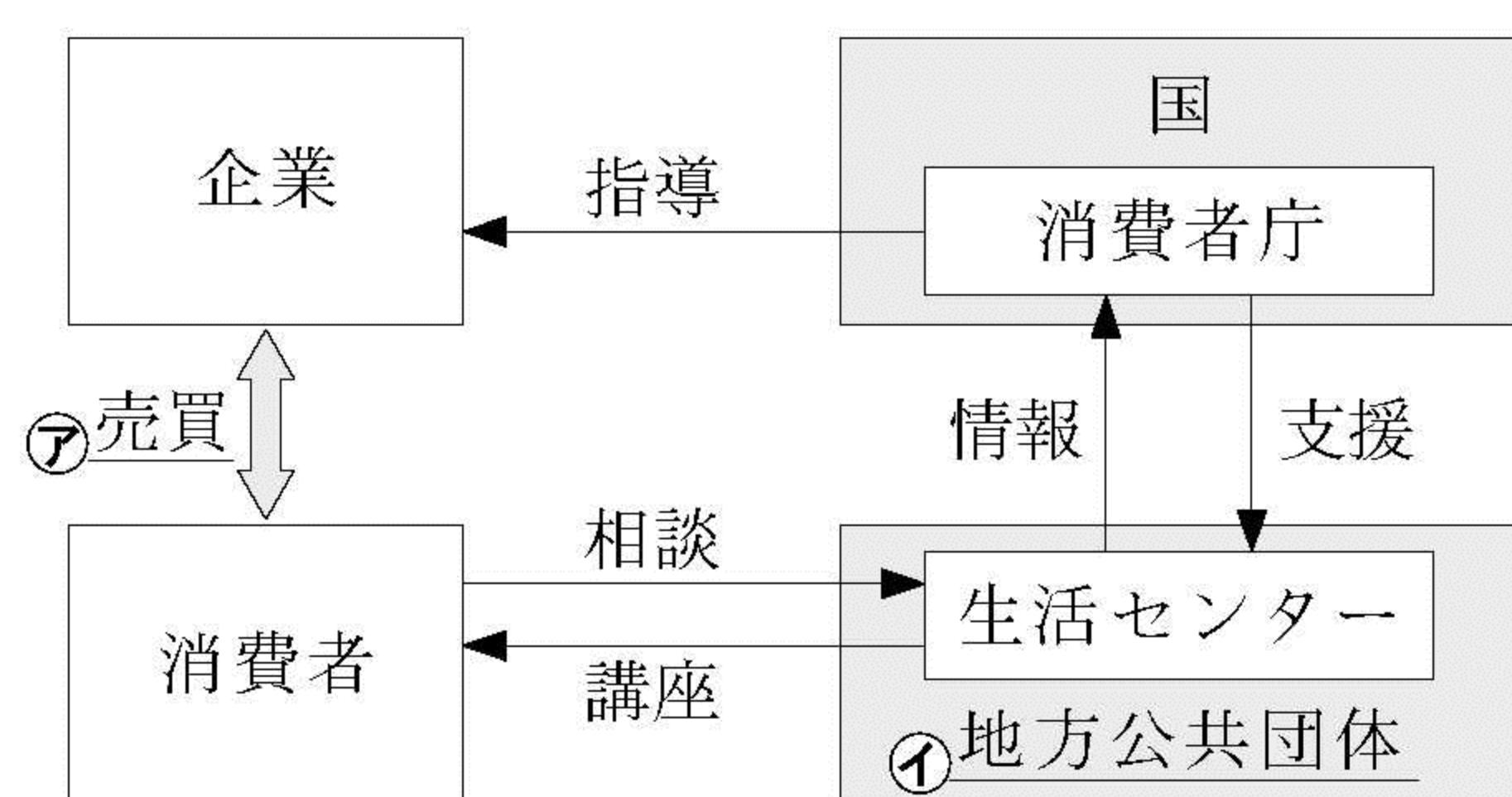
(平成25年度財務省資料などから作成)

○企業が納める主な税金

- 企業は、家計と同じ税金の他にあなどの税金を納めている。

資料2

○消費者問題と行政機関の主な取り組み



● 2班が調べて分かったこと

・図1から読みとれる消費者問題の状況

相談の総件数と高齢者の相談割合の推移に、秋田県の状況が表れている。

・秋田県生活センターが実施した講座

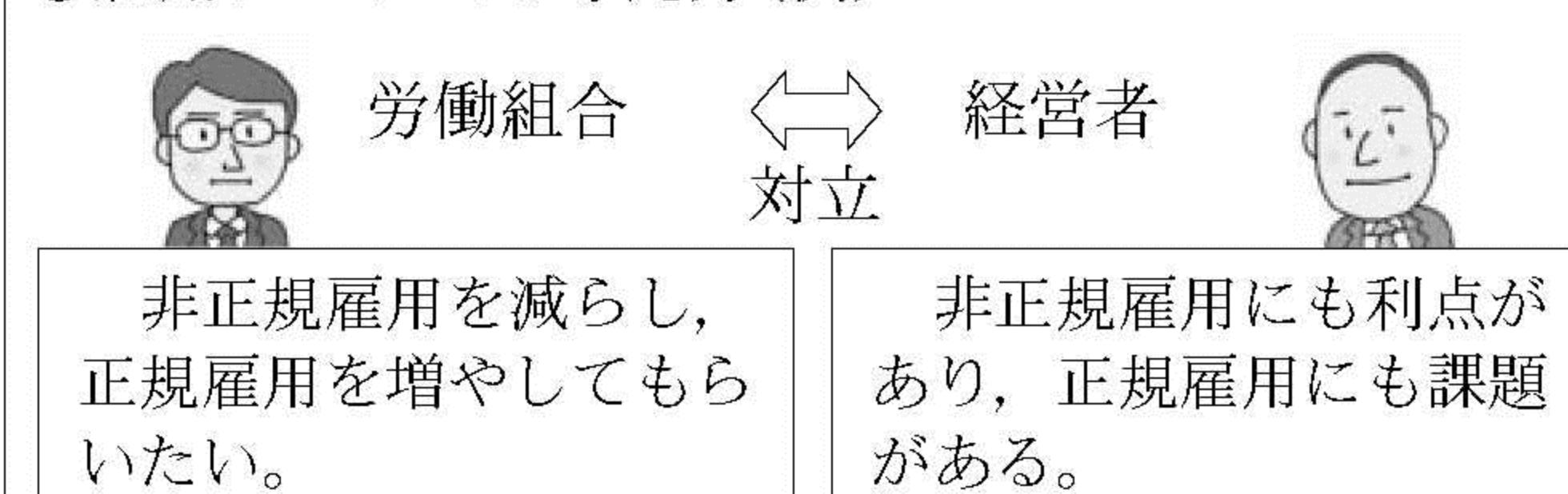
2011年度に⑦実施した講座のうち、約20%は、高齢者を対象に行っていることが分かった。

資料3

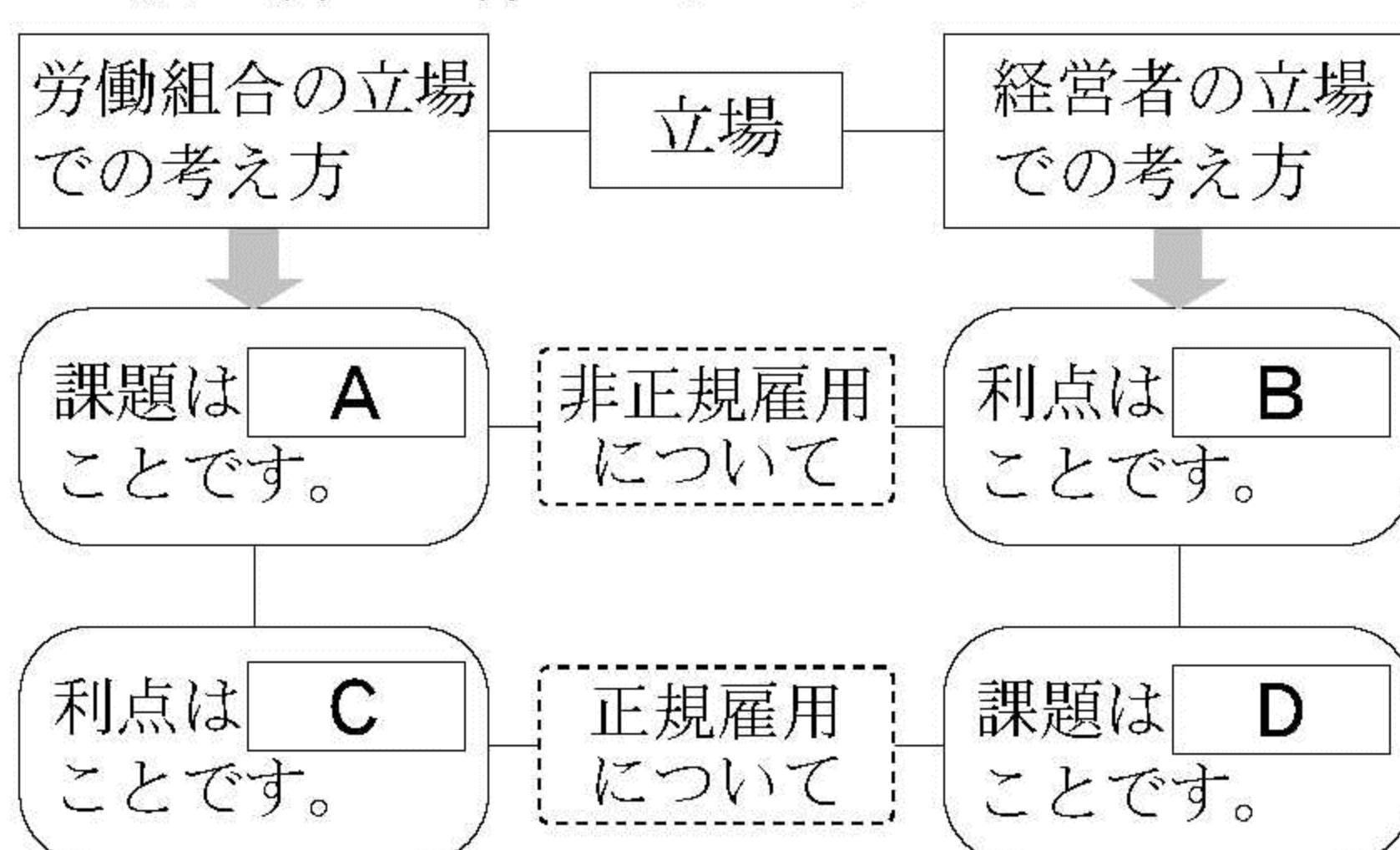
○勤労についての憲法の主な条文

- 「すべて国民は、勤労のいを有し、うを負ふ。」

○雇用についての考え方(例)



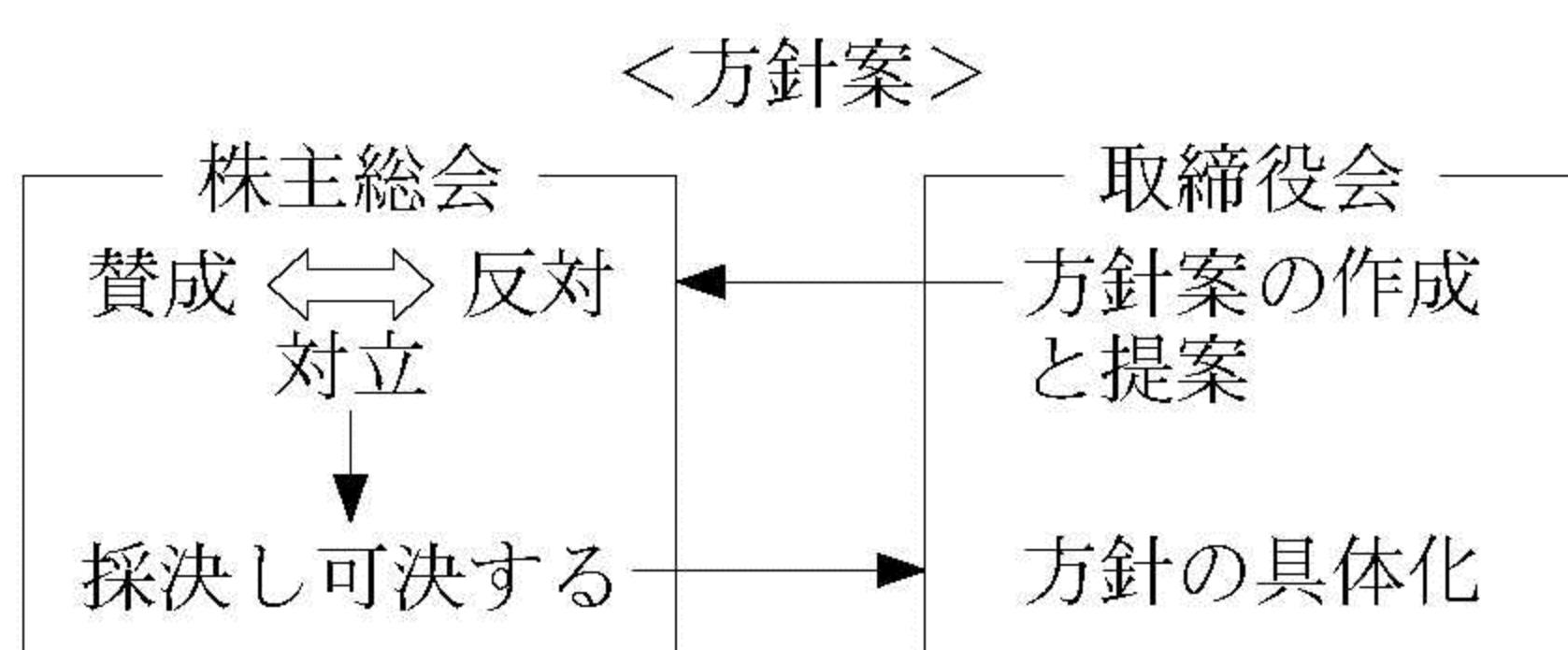
● 3班が調べて分かったこと



資料4

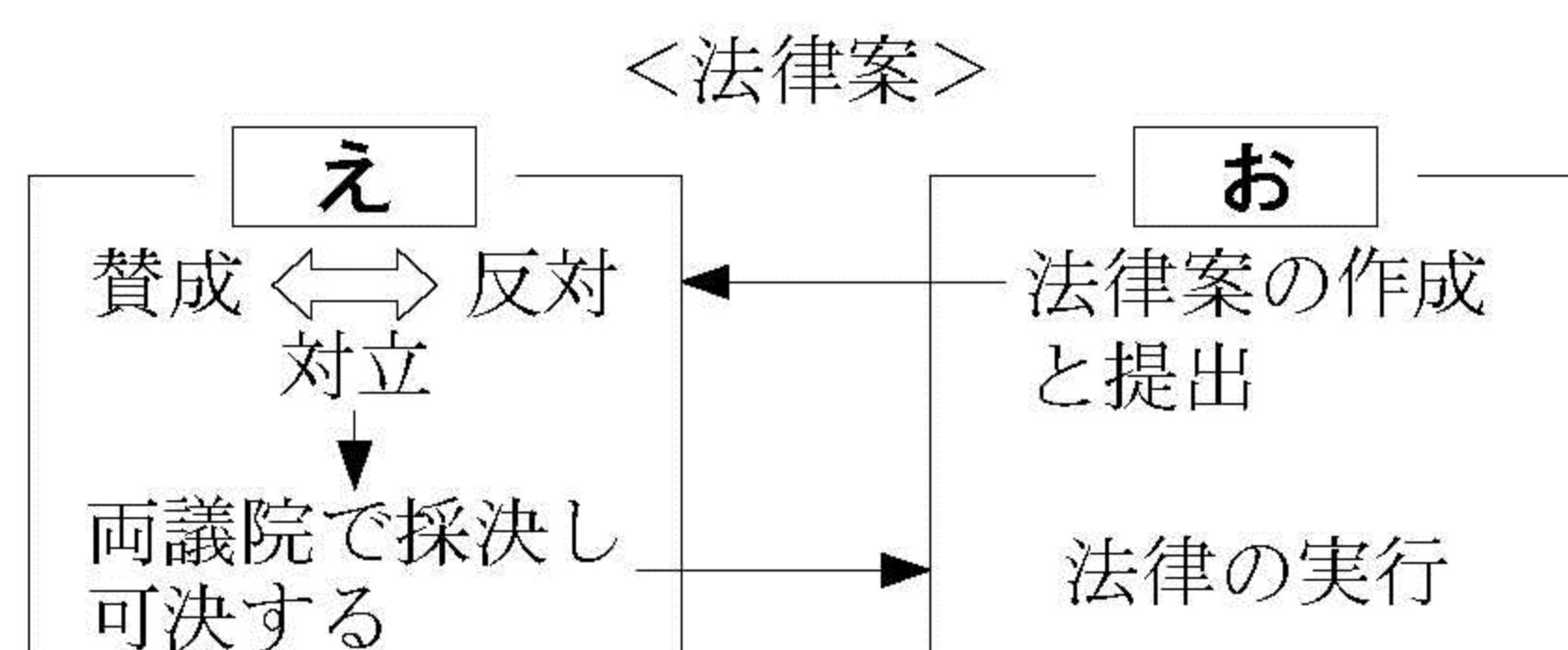
○経営の方針案と法律案の比較

- 案が実行されるまでの過程を、下の二つの図にまとめ、共通点を考えた。



● 4班が調べて分かったこと

- 採決の前には、十分に話し合う。
- 採決では、多数決を行うことが多い。



(1) 資料1のア～エから、直接金融にあてはまるお金の流れを示すものを、二つ選んで記号を書きなさい。

(2) 資料1の **あ** にあてはまる税金を、一つ選んで記号を書きなさい。ただし、 **あ** には同じ語が入る。

ア 相続税 イ 法人税 ウ 所得税 エ 消費税

(3) 資料2の下線部②が公正に行われるよう、国が企業に対して求めている内容として適切なものを、二つ選んで記号を書きなさい。

ア 安全な商品を生産すること イ 商品の流通を合理化すること
ウ 商品の売り上げをのばすこと エ 商品の情報を正確に表示すること

(4) 資料2の下線部①が、国から自立し、地域の状況に応じた政治を行うことを何というか、書きなさい。

(5) 資料2の下線部④に、影響を与えている秋田県の状況を、図1の件数と割合の推移を関連づけて書きなさい。

(6) 資料3の **い** と **う** にあてはまる語を、それぞれ書きなさい。

(7) 資料3の **A** ～ **D** に入る適切な内容を、一つずつ選んで記号を書きなさい。

ア 安定した収入を得にくい イ 仕事に役立つ知識や技能を身につけやすい
ウ 社員教育に費用がかかる エ 必要な時期に必要な人材を確保しやすい

(8) 資料4の **え** と **お** にあてはまる機関の名称を、それぞれ書きなさい。

(9) 次の意見Iは、4班が、資料4をもとに多数決と全員一致を比較して考えたものである。

意見Iの下線部の内容を、次の語を用いて書きなさい。〔一定〕

意見I：多数決の長所は、効率のよさであり、全員一致の長所は、結果の公正さである。

(10) 次の意見IIは、4班のある生徒が、表の案1と案2を比較して考えたものである。X

に入る、案2の社会貢献の特色を、図2から読みとれることと関連づけて書きなさい。

意見II：私が取締役ならば、案2を提案する。なぜなら、案1に比べて X からである。

表 社会貢献についての方針案

案1	研究所を建設し、全国の主要な河川の環境の浄化について、先進的な研究開発を行う。
案2	週末ごとに、各工場の周辺の住民と一緒に地域を流れる河川の清掃活動を行う。

図2 ある企業の利潤の動き

